

会派名

新政会

支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		共通

区分	事由	費目金額					小計
1	調査研究費	交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		調査委託費		振込料	
2	研修費 1、交通議員連盟講演会 (11/20) 東京都 2、草加市行政調査 (11/21) 草加市役所	会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	240,240
		交通費		旅費	240,240	自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費		振込料	
3	広報費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代	
		振込料					
4	広聴費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費	交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
6	会議費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
7	資料作成費	印刷製本費		翻訳料		筆耕料	
		振込料					
8	資料購入費	法規追録代		参考図書代		新聞(日刊紙)購読料	
		雑誌等購読料		有料データベース等利用料		振込料	
9	人件費	賃金		社会保険料等		振込料	
10	事務所費	備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費	
		印刷代		振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費	電話料等(按分)		郵便料等		自動車燃料費(按分)	
		その他					
使用者	共通 	支出年月日	29年 11月 15日	現金出納簿 支出番号	2/	合計	240,240 円

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 21

会派会長様

申請代表者氏名 橋本幸一



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	240,240円（1人あたり 40,040円） ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	1、第1回交通議員連盟講演会の講演のみへの参加(11/20) 2、草加市行政調査(11/21)	
用務先	1、東京都 衆議院議員第2議員会館 2、埼玉県 草加市役所	
内容	1、講演1「鉄道復権と地域づくり」 講演2「JR 北海道の再生に必要な枠組み改編の可能性」 2、草加市行政調査 「そうかりノベーションまちづくりについて」	
期間	29年11月20日 ～ 29年11月21日（1泊 2日）	
行程	別紙行程表の通り	
出張(調査等)者氏名	・橋本幸一（代表者）	・折笠 正
	・遠藤敏郎	・會田一男
	・栗原 晃	・渡部龍治
	・	・
	・	・
特記事項		

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者		受理日	29年11月15日
			許可日	29年11月15日
			支出日	29年11月15日

上記金額を受領しました。

29年 11月 15日

申請代表者氏名 橋本幸一



行政調査旅費計算書

会派名 : 新政会
 参加議員 : 橋本 幸一、遠藤 敏郎、栗原 晃、會田 一男、折笠 正、渡部 龍治
 日程 : 平成29年11月20日(月)～11月21日(火)
 行先 : 衆議院議員第二議員会館(東京都千代田区永田町2丁目1-2)
 草加市(埼玉県草加市中央1-1-8(第2庁舎))

11/20(月)	郡山駅	JR新幹線 やまびこ 130号 226.7	東京駅	JR山手線 品川・ 渋谷方面行 61.7	有楽町駅	東京メトロ 有楽町線 保谷行 1.9	永田町駅	東京メトロ 半蔵門線 南栗橋行 29.1	草加市									
運賃	4,000		※		※												4,000	
急行料金	3,680																3,680	
グリーン	3,090																3,090	
実費																	0	

※区間は、交通雑費に該当するため交通費に算入しない。

11/21(火)	草加市	東部スカイ ツリーライ ン 久喜行 17.8	春日部駅	東部アーバン パークライ ン 大宮行 15.2	大宮駅	JR新幹線 やまびこ 53号 196.4	郡山駅											
運賃	470				3,350												3,820	
急行料金					2,590												2,590	
グリーン					2,060												2,060	
実費																	0	

運賃																	0	
急行料金																	0	
グリーン																	0	
実費																	0	

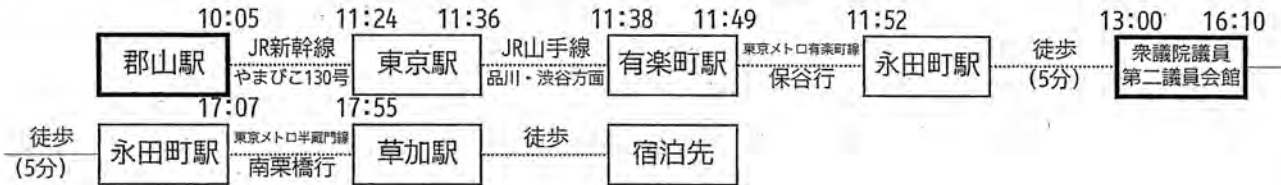
交通費	19,240		19,240	
日当	3,000 ×	2日 =	6,000	
宿泊費	14,800 ×	1泊 =	14,800	
合計			40,040円	× 6人 = 240,240円

平成29年度 新政会 行政調査行程表

1 行程

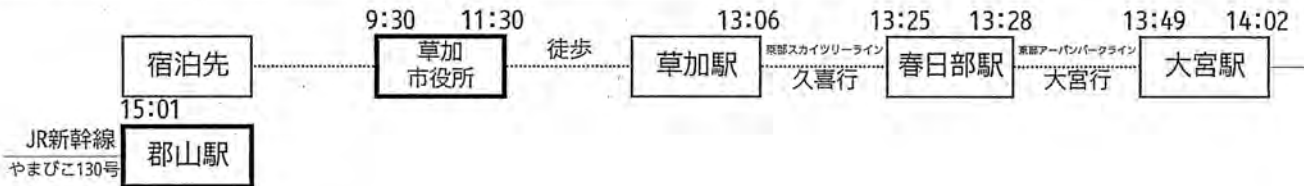
□ 平成29年11月20日 (月)

第1回交通議員連盟講演会



□ 平成29年11月21日 (火)

草加市：そうかりノベーションまちづくりについて



2 人員 6人

- 橋本 幸一 議員 (会長)
- 遠藤 敏郎 議員 (副議)
- 栗原 晃 議員
- 會田 一男 議員
- 折笠 正 議員
- 渡部 龍治 議員

3 調査内容

- 平成29年11月20日 (月) 13:00~16:10
第1回交通議員連盟講演会
(主催 交通議員連盟)
・講演1：鉄道復権と地域づくり
講師：藻谷 浩介 (株)日本総合研究所 主任研究員)
・講演2：JR北海道の再生に必要な枠組み改変の可能性
講師：武田 泉 (北海道教育大学准教授)
- 平成29年11月21日 (火) 9:30~11:30
草加市行政調査
・そうかりノベーションまちづくりについて

4 事務局連絡先・会場

○第1回交通議員連盟講演会

【会場】衆議院議員第二議員会館地下1階会議室
東京都千代田区永田町2丁目1-2

【事務局】交通議員連盟
岩手県盛岡市議会議員 鈴木 一夫 様
電話0[REDACTED]

○草加市行政調査

草加市議会事務局 (担当：コガ様)
〒340-8550
埼玉県草加市中央1-1-8 (第2庁舎)
電話048-922-2458

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 21

会派会長様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。



出張（調査等）議員名

・橋本幸一（代表者）		・折笠 正	
・遠藤敏郎		・會田一男	
・栗原 晃		・渡部龍治	
・		・	
・		・	

記

期 間	29年11月20日 ～ 29年11月21日（1泊2日）					
目 的	1、第1回交通議員連盟講演会の講演のみへの参加（11/20）					
	2、草加市行政調査（11/21）					
用 務 先	1、東京都 衆議院議員第1議員会館（第2から第1に変更）					
	2、埼玉県 草加市役所					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	1、講演1「鉄道復権と地域づくり」講演2「JR 北海道の再生に必要な枠組み改編の可能性					
	2、草加市行政調査「そうかりノベーションまちづくりについて」					
旅費精算	受領額	240,240円	精算額	240,240円	返納額	0円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

会派会長	経理責任者		受 理 日	29年11月22日
			確 認 日	29年11月22日
			精 算 日	29年11月22日

行政調査旅費計算書

会派名 : 新政会
 参加議員 : 橋本 幸一、遠藤 敏郎、栗原 晃、會田 一男、折笠 正、渡部 龍治
 日程 : 平成29年11月20日 (月) ~11月21日 (火)
 行先 : 衆議院議員第二議員会館 (東京都千代田区永田町2丁目1-2)
 草加市 (埼玉県草加市中央1-1-8 (第2庁舎))

11/20 (月)	郡山	東京	有楽町	永田	草加					
	JR新幹線 やまびこ 130号 226.7	JR山手線 品川・ 渋谷方面行 61.7	東京メトロ 有楽町線 保谷行 1.9	東京メトロ 半蔵門線 南栗橋行 29.1						
運賃	4,000		※	※						4,000
急行料金	3,680									3,680
グリーン	3,090									3,090
実費										0

※区間は、交通雑費に該当するため交通費に算入しない。

11/21 (火)	草加	春日部	大宮	郡山						
	東部スカイ ツリーライ ン 久喜行 17.8	東部アーバ ンパークラ イン 大宮行 15.2	JR新幹線 やまびこ 53号 196.4							
運賃	470		3,350							3,820
急行料金			2,590							2,590
グリーン			2,060							2,060
実費										0

運賃										0
急行料金										0
グリーン										0
実費										0

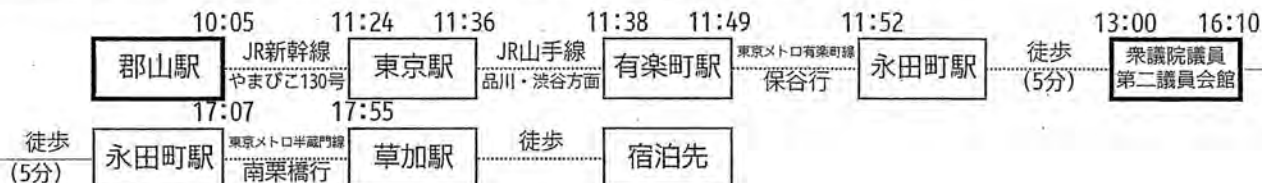
交通費	19,240		19,240	
日当	3,000 ×	2日 =	6,000	
宿泊費	14,800 ×	1泊 =	14,800	
合計			40,040円	× 6人 = 240,240円

平成29年度 新政会 行政調査行程表

1 行程

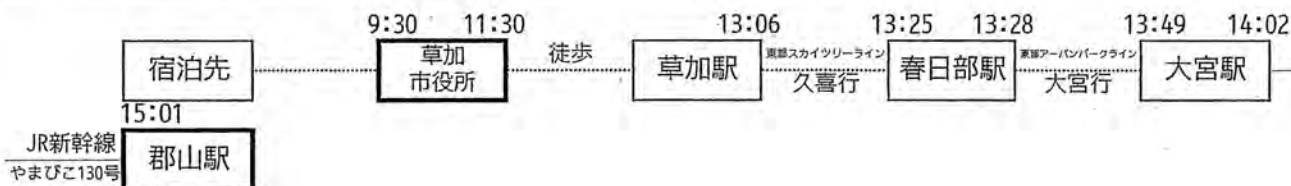
□ 平成29年11月20日 (月)

第1回交通議員連盟講演会



□ 平成29年11月21日 (火)

草加市：そうかりノベーションまちづくりについて



2 人員 6人

- 橋本 幸一 議員 (会長)
- 遠藤 敏郎 議員 (副議)
- 栗原 晃 議員
- 會田 一男 議員
- 折笠 正 議員
- 渡部 龍治 議員

3 調査内容

- 平成29年11月20日 (月) 13:00~16:10
第1回交通議員連盟講演会
(主催 交通議員連盟)
・講演1：鉄道復権と地域づくり
講師：藻谷 浩介 (榊日本総合研究所 主任研究員)
・講演2：JR北海道の再生に必要な枠組み改変の可能性
講師：武田 泉 (北海道教育大学准教授)
- 平成29年11月21日 (火) 9:30~11:30
草加市行政調査
・そうかりノベーションまちづくりについて

4 事務局連絡先・会場

○第1回交通議員連盟講演会





【会場】衆議院議員第二議員会館地下1階会議室
東京都千代田区永田町2丁目1-2
【事務局】交通議員連盟
岩手県盛岡市議会議員 鈴木 一夫 様
電話 [REDACTED]

○草加市行政調査





草加市議会事務局 (担当：コガ様)
〒340-8550
埼玉県草加市中央1-1-8 (第2庁舎)
電話048-922-2458

当社単独では維持することが困難な線区について

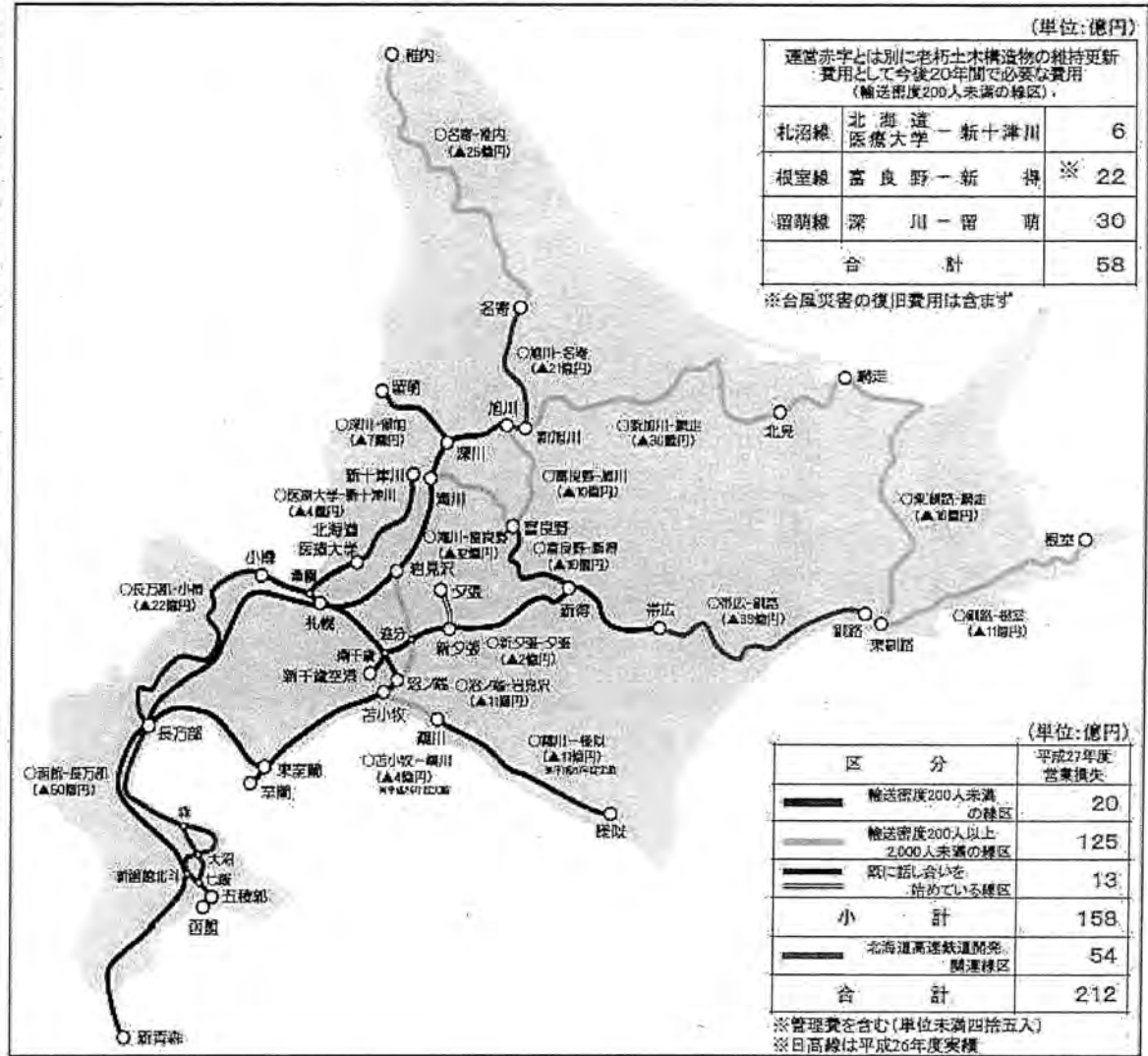
当社単独では維持することが困難な線区
(13線区・1,237.2km)

-  輸送密度200人未満(片道100人未満)の線区
 持続可能な交通体系とするためにバス等への転換について
 相談を開始します
-  輸送密度200人以上2,000人未満の線区
 鉄道を維持する仕組みについて相談を開始します
-  既に「持続可能な交通体系のあり方」について
 話し合いを始めている線区
-  // (方向性が出た線区)

当社単独で維持可能な線区 等
(11線区・1,150.7km)

-  当社単独で維持可能な線区
-  北海道高速鉄道開発(株)関連線区
 当面は当社で維持していきませんが、線区を持続的に維持する
 ために北海道高速鉄道開発(株)との関連で検討します
-  北海道新幹線(平成42年度末までに札幌開業)
-  北海道新幹線札幌開業に伴う経営分離区間
 経営分離されるまでの間、施設のスリム化などに取り組み
 効率的な運営を行います

※輸送密度は平成27年度実績基準



交通議員連盟設立記念講演会
2017.11.20 衆議院第二議員会館

JR北海道の 再生に必要な 枠組み変更の可能性

武田 泉

(北海道教育大学札幌校)

■自己紹介Profile 東京都出身

*1989年に来道し、地方鉄道を中心に、地域交通政策や地域環境政策を研究。北海道教育大学岩見沢校を経て、現在札幌校准教授。

*1997年、地方鉄道を使う上での不備を再検討し改善を図る運動を提起し、全国鉄道利用者会議の初代代表として、ふるさと銀河線等の地方鉄道存続支援活動に取り組む。

*北海道新幹線開業前の2015年11月に函館市で開催の、運輸審議会北海道新幹線特急料金公聴会で、3人の公述人の一人として、道民目線で料金の高さから反対を表明。

*2006～09年には北海道運輸局公共交通等マネジメント会議委員。

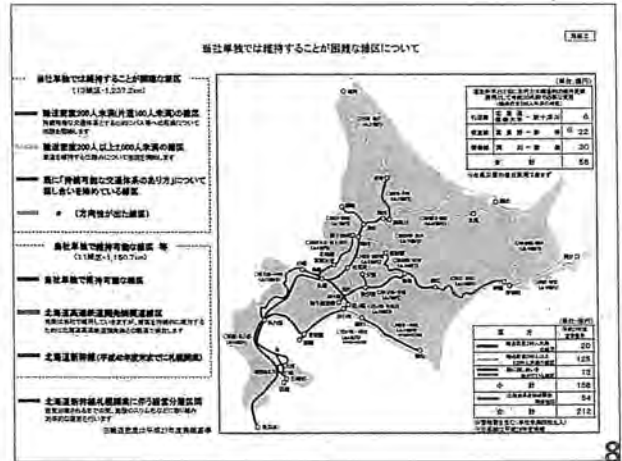
■本日の内容:

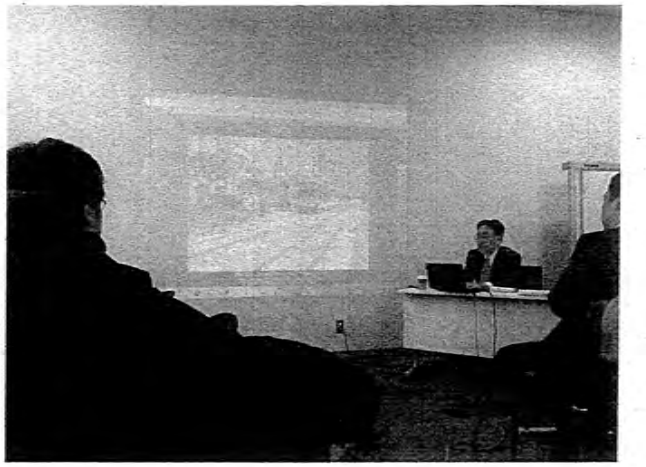
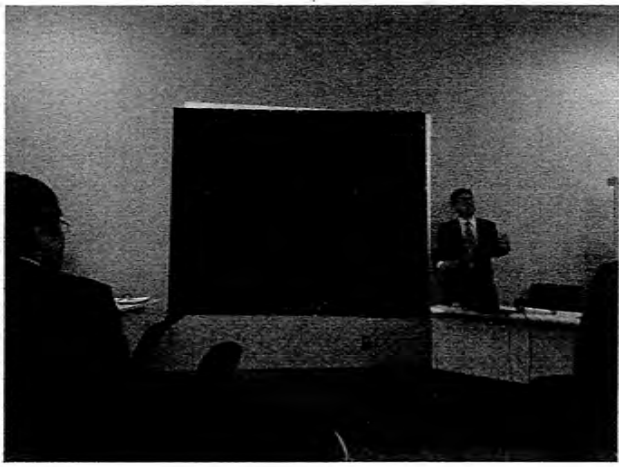
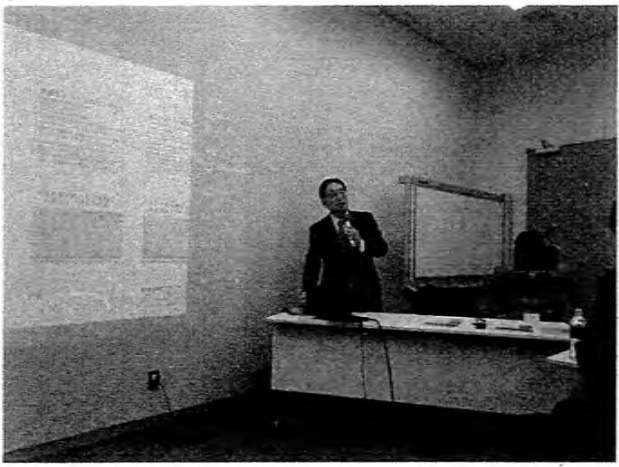
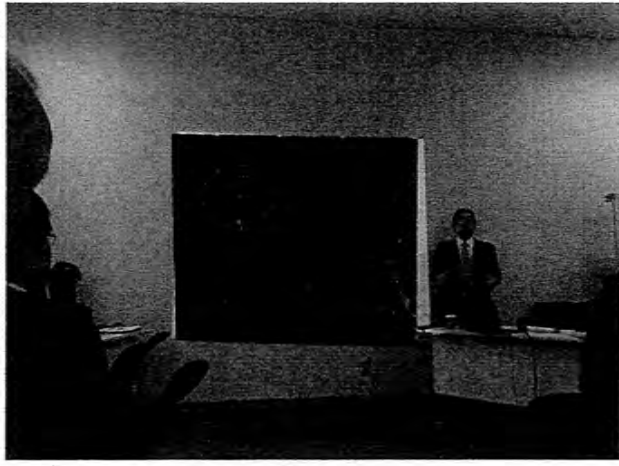
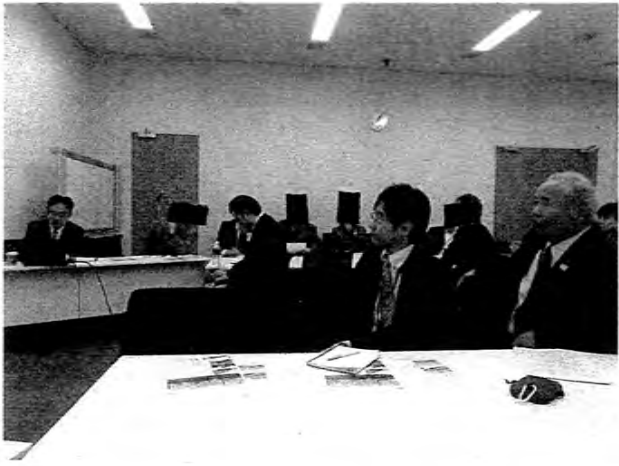
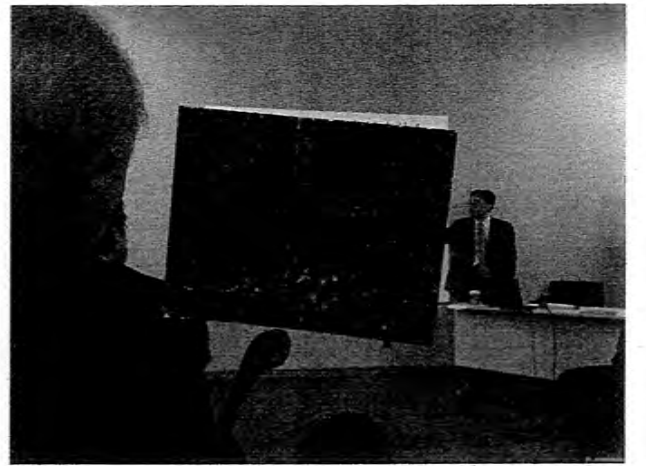
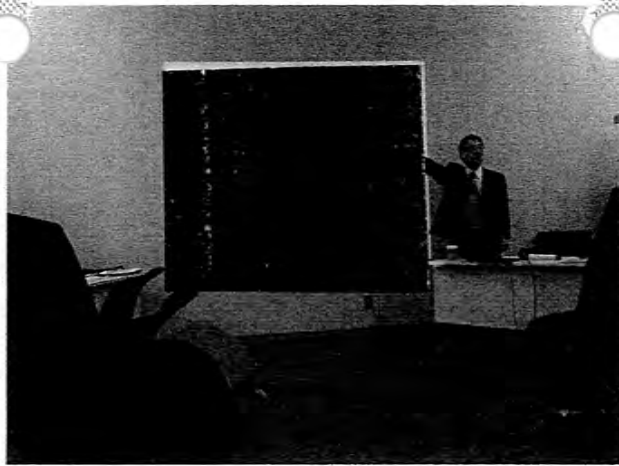
- 知られざるJR北海道問題の道内での現状:
～道内の交通事情の現状、論議の状況、
→JR北、国・道庁・沿線自治体、道民・来訪者
(←発端:事故多発、「選択と集中」、
→維持困難路線(同時多発)、並行在)
- 北海道新幹線新函館北斗開業後の現状:
-「新幹線料金公聴会」や国交省見解を踏まえて
- 鉄道存続に向けて必要な枠組み変更の可能性
→縦割り行政、法制度財源変更の必要性

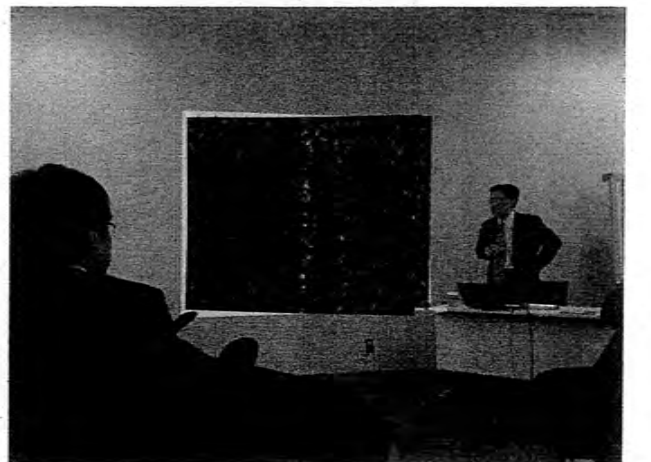
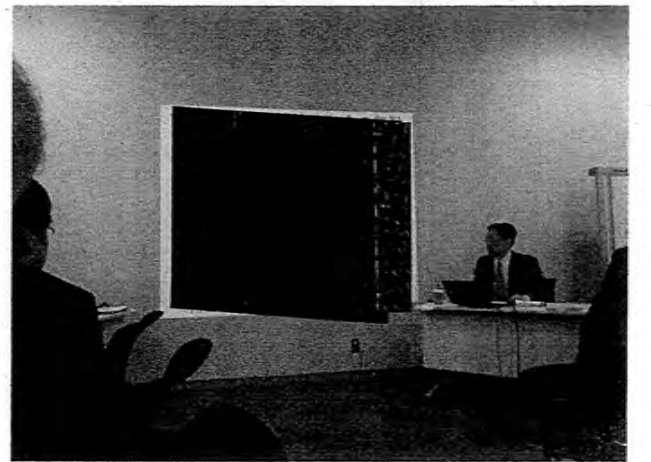
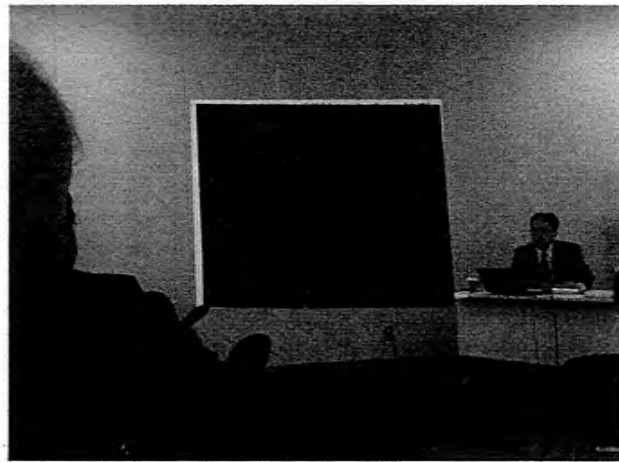
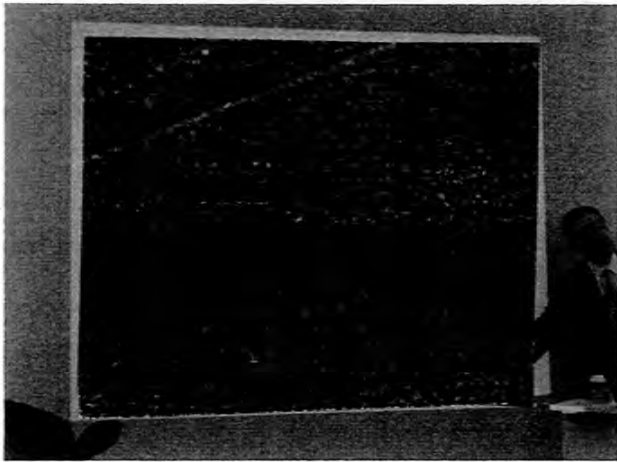
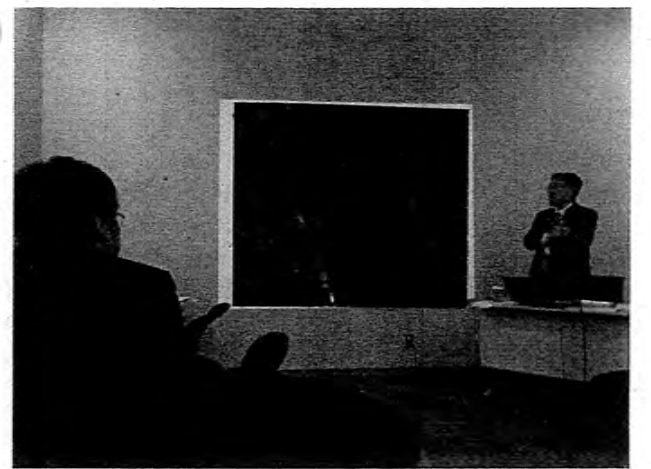
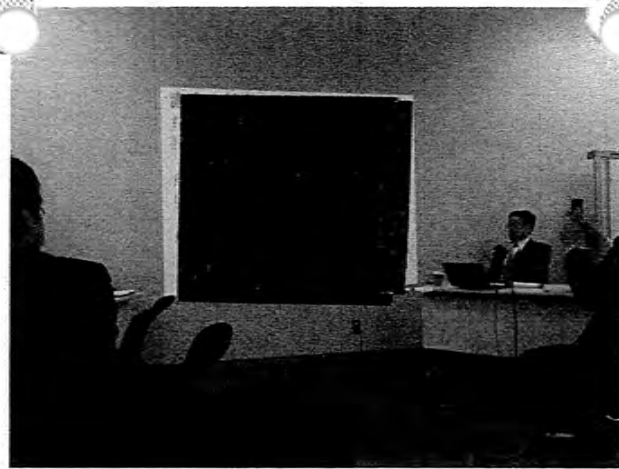
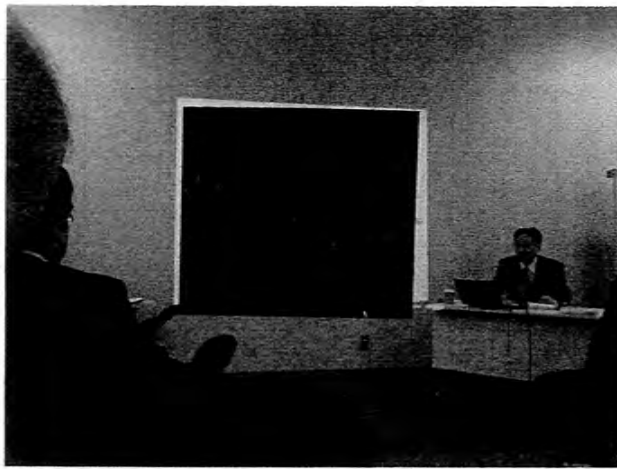
■JR北海道問題の現状

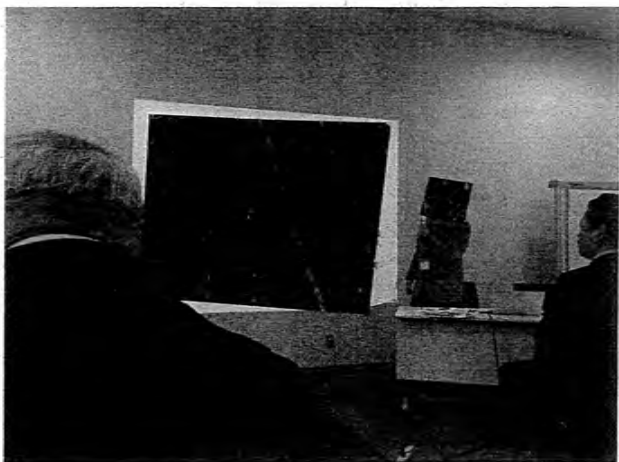
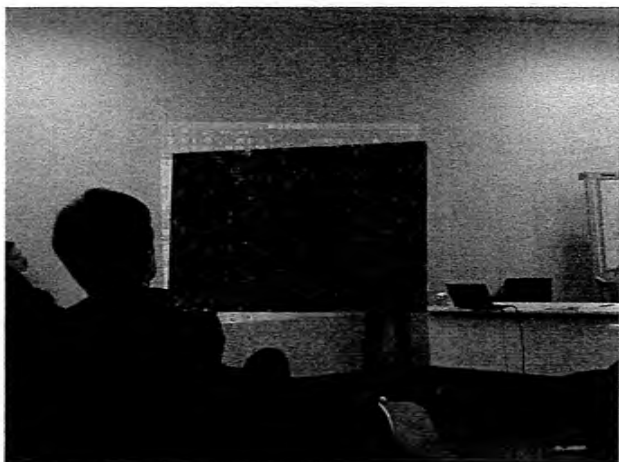
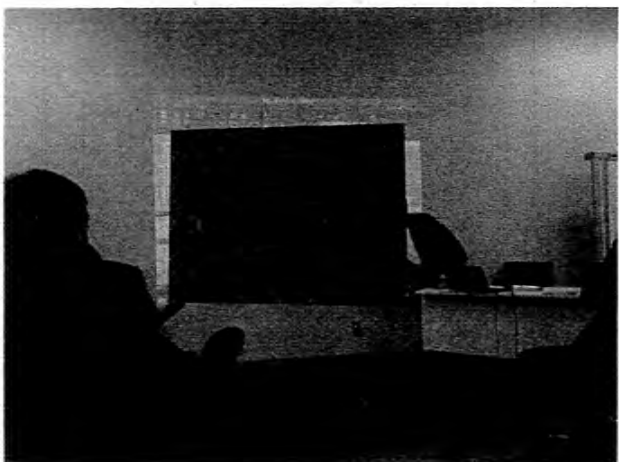
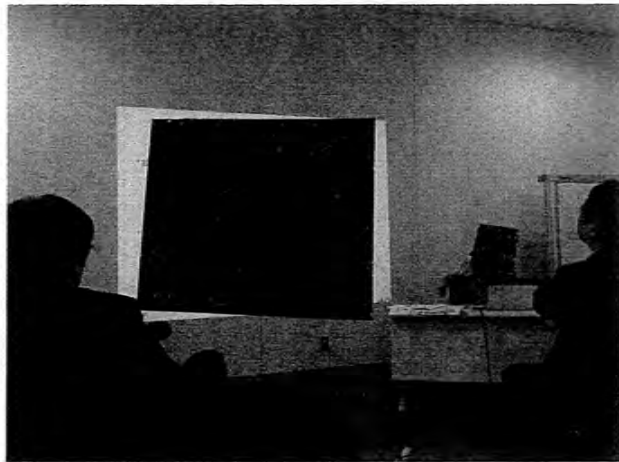
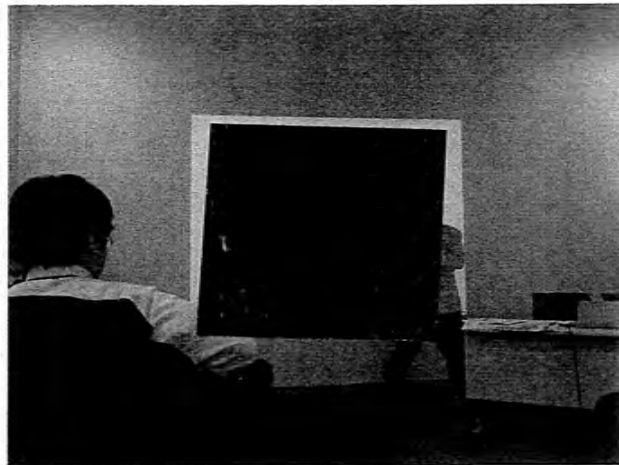
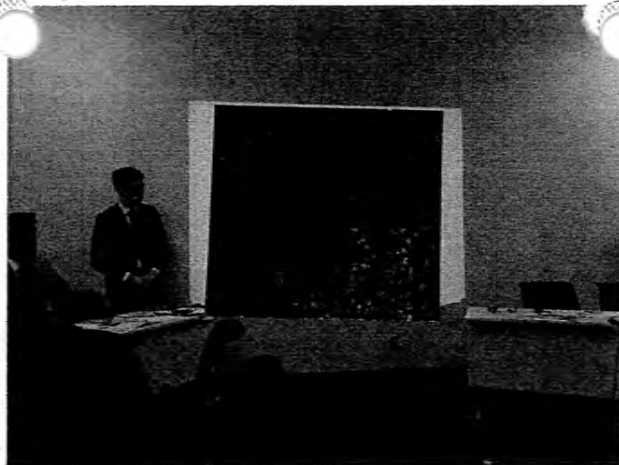
- JR北海道は維持困難区間を公表
→国や道庁の対応は緩慢
→沿線別に協議会、本格的議論に程遠い、又は拙速
←国の支援内容が未だ不透明～国:じつと傍観のみ
- 国の説明:従来の枠組みの説明に終始
←地域の破格な頑張りが必要、廃止やむなし、
～新自由主義的な対応に終始
- 道庁:審議会議論やワーキングチーム答申から
→国への要望～きわめて限定的(貨物調整金等のみ)

廃止を廃止?





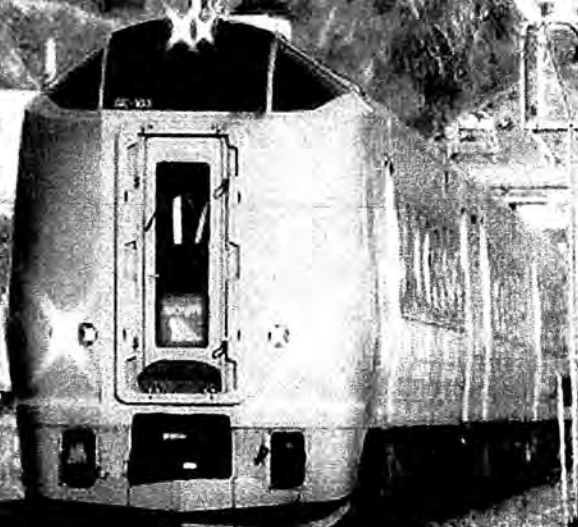




第1回 交通議員連盟 設立総会ならびに 講演会の開催

2017(平成29)年

11月20日(月)



講演1 「鉄道復権と地域づくり」

…… 13時10分～15時



©青木優佳氏

もたに こうすけ
濠谷 浩介 (株)日本総合研究所 主任研究員

山口県生まれの53歳。平成合併前3,200市町村のすべて、海外86ヶ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。地域振興や人口成熟問題に関し精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。近著にデフレの正体、里山資本主義(共に角川Oneテーマ21)、金融緩和の罫(集英社新書)、しなやかな日本列島のつくりかた、和の国富論、観光立国の正体(共に新潮社)、日本の大問題(中央公論新社)。

講演2 「JR北海道の再生に必要な枠組み改変の可能性」

…… 15時10分～16時10分

ただ いずみ
武田 泉 北海道教育大学准教授:交通地理学

会合 交通議員連盟発足について・交通議員連盟の設立と今後の活動について

…… 16時20分～17時

日時●2017(平成29)年11月20日(月) 13時～17時

会場●衆議院議員第二議員会館 地下1階会議室

東京都千代田区永田町2丁目1-2(ウラ面に地図)

参加費●5,000円(資料代として)

受付●12時30分より

主催●交通議員連盟

事務局●交通議員連盟 岩手県盛岡市議会議員 鈴木一夫

岩手県盛岡市仙北2丁目23-24 電話

aap09710@hkg.odn.ne.jp

《募集定員》

150名

鉄道復権と地域づくり

報告者 新政会 渡部 龍治

平成 29 年 11 月 20 日 (月)

講師 藻谷 浩介 (株)日本総合研究所 主任研究員

どういう道路に一番お金がかかっているのか調べてみたことがあります。それで気がついたので、道路にかかる費用は、路面の面積に比例するんです。過疎地の 1 車線の林道などが無駄遣いと思われがちですが、実際には都市近郊の 4 車線で街路樹がついて、歩道までついている道路のほうが、はるかにお金がかかる。たとえば道路はアスファルトが摩耗するから一年中舗装し直す必要がありますが、通っている人間当たりの面積が広いのでムダにお金がかかる。路面の清掃作業や除雪、街路樹の剪定などの維持費も馬鹿にならない。

対して鉄道の優れているところは、通っている人間当たりの使用面積が狭いことです。街灯も不要だし、レールは磨耗に強いので頻繁に替えなくてもいい。(藻谷氏コメント抜粋) この考え方は、今後の人口減少社会を考えたときに、非常に重要になると考えます。インフラを維持していくために、広域に拡大させた道路の維持補修にいくらの税金が必要になるのか、考えただけでも今後の郡山に不安を感じます。2040 年に郡山市の人口は 29 万~28 万人になると予想されています。対策は急務です。

過疎化が進む現代、先入観を変えて鉄道を見直すべきと考えます。

高齢化社会にはライトレールが最適である。

後期高齢者の自動車免許証の返納は今後増えていくものと考えられ、交通手段をどのようにするかを求められています。デマンド交通や、バス交通など対策は各ありますが、郡山市の場合、インフラの事を考えるのであれば、LRT が有効と考えます。

目の前に車が来ることは、一見便利で有効に見えますが、歩ける高齢者は出来るだけ歩いて、健康増進の為に LRT を利用すべきです。これからの社会変化に対応するためにも市内に LRT 交通網を作るべきと考えます。

道路は 1 台も車が走らなくても苦情が出ないのに、鉄道は民間企業だから公費を入れるのは受益者負担の考えに沿わないという方もいますが、レール工事は、道路工事に比べはるかに安く、長寿命です。公費を投入するに資する価値があります。

これからの郡山市を見据えたときに、公共交通プラス民間の力で、市民サービスの向上に寄与すべきではないでしょうか。

JR 北海道再生に必要な枠組み改変の可能性について

平成29年11月20日

新政会 渡部 龍治

路線存続へ国が明確な関与を

「これだけ同時多発的な路線見直しは前例がない。これまでの一本一本の廃線とは次元が違う。高校生の通学手段や高齢者の通院手段を奪うなど、地域に与える影響は大きい。国土形成にかかわる問題であり、拙速な結論は避けるべきだ」との考え方は JR 北海道だけの問題とは言えない状況だと感じます。

JRは「存続を望む場合は、地元自治体も負担をすべきだ」と主張しています。

田中教授は「根本から間違っている。JR北の惨状は、30年前の国鉄民営化の帰結だ。本州のように、関連事業で収益を上げられる都市部をたくさん抱えていれば、経営は成り立つ。しかし、道内は広大な土地に小都市が点在しており、ドル箱は札幌圏くらいだ。そもそも利益を見込めない」と言っています。

国は民営化時にJR北海道の経営を支える『経営安定基金』をつくったが、この20年続く低金利で赤字を埋められなくなった。地元負担を求める前に、国が国鉄民営化の失敗を認め、完全民営化という『夢物語』をあきらめるべきだとも述べています。

今国は、線路などの設備の維持費用を自治体に負担させ、列車の運行に専念する「上下分離」を解決策の一例に挙げています。

まず鉄道を国家のインフラとして扱うべきだと考えます。道路や空港、港湾は公共事業、すなわち税金で整備されているわけで、鉄道だけは事業者が運賃収入から整備や維持の費用をまかなっている。まるで『鉄道は田舎にはぜいたくだ』と言って、国策として鉄道をなくそうとしているとしか思えないようにも感じます。

田中教授は「私はJRと自治体による上下分離ではなく、『上中下』分離を提案している。北海道開発局や鉄道建設・運輸施設整備支援機構などの国が線路などの施設（下）を保有する。車両（中）を道や第三セクターが持ち、運行（上）をJRが引き受ける。ポイントは国の明確な関与だ」と述べています。解決の糸ぐちは、道路予算を一部でも使えば、いまの道内の路線はすべて維持できるのではないかと思います。ほかにも、固定電話網のように、全国の都市部の路線の運賃に、採算が合わない地域のサービスを維持する『ユニバーサルサービス』料金を上乗せして、不採算路線を支える手もありますし、知恵を絞ればいいと思いました。今後の郡山市も鉄道結節点として重要な都市であり、今後広域連携を進めるうえで、近隣市町村の発展、地域貢献も含め、真剣に公共交通政策の構築が必要と感じました。

領 収 書 等 整 理 票

区		分		※該当する区分に○印
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費	
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費		

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄



快速都市—草加—
草加市

草加市議会事務局

事務局長

小林 勝治

Kobayashi Katsuji

340-8550
草加市高砂1-1-1
TEL 048-922-2377
FAX 048-922-3154
E-mail gikai@city.soka.saitama.jp



快速都市—草加—
草加市

自治文化部 産業振興課

課長

高橋 浩志郎

Takahashi Koushirou

340-8550
草加市高砂1-1-1
TEL 048-922-0839
FAX 048-922-3406
E-mail sangyosinko@city.soka.saitama.jp

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

行政調査報告書

行政調査日 平成 29 年 11 月 21 日

行政調査場所 埼玉県草加市役所

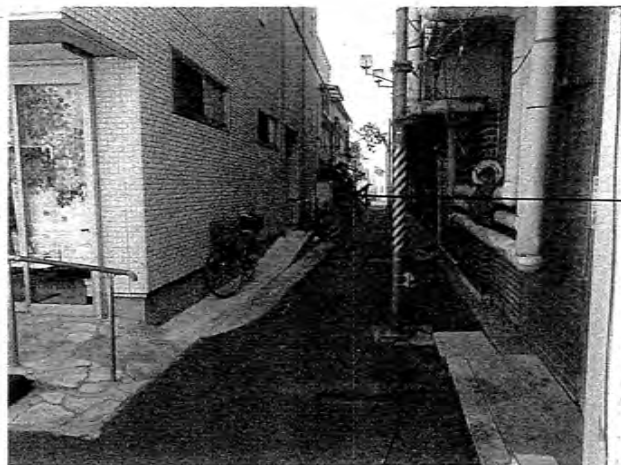
報告者 折笠 正

そうかりノベーションまちづくりについて

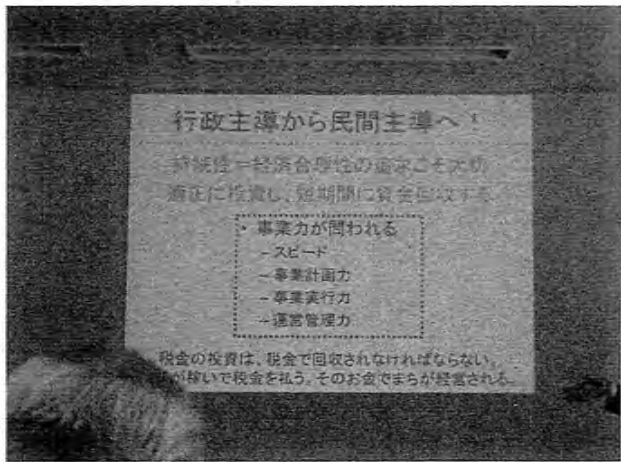
民間主導公民連携による新しいまちづくり、人口減少社会を迎え遊休不動産を活用するきっかけを作るのは、市役所の仕事です、との草加市の考え方は大変すばらしいし、シャッター通りになってしまうとの危機感から立ち上げたリノベーションまちづくり事業です。

本市においても、シャッター通りになりつつある商店街もあることから市が不動産オーナーと一緒に公民連携による新しいまちづくりに挑戦してはどうかと強く思いました。

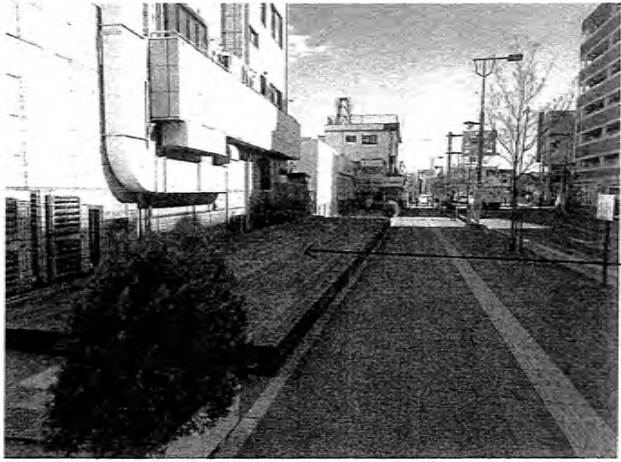
草加ならではのプロセスとして不動産オーナー、家守会社、事業オーナーが連携することにより行政の持ち出しがあまり必要ないことも事業成功の秘訣とも感じました。



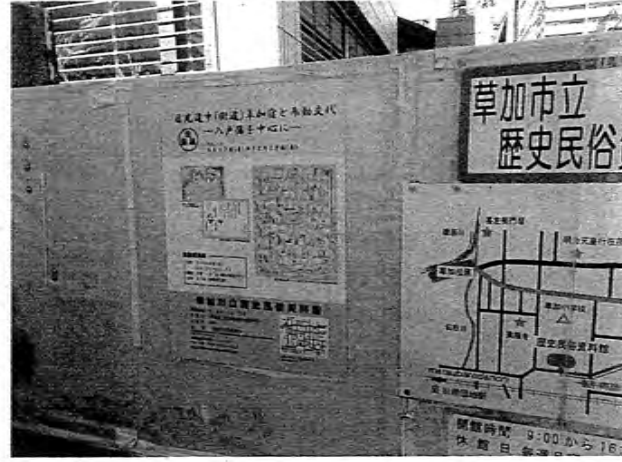
細い路地のお店や商店



スズメの経営する官道



高砂二丁目地味まじり推し事業用



家
空屋

食堂(レストラン)開業予定

(1)第1回リノベーションスクール@そうか
提案内容

『野菜とお酒のバル スバル』

平成29年3月オープン。
地場野菜を使った洋風おばんざいとお酒を楽しめるバル。



『草加市高砂二丁目地内まちづくり推進事業用地』

第1回リノベーションスクールの提案を受け、公募型プロポーザルにより、貸与する事業者選定を行い、株式会社奏草舎が優先交渉事業者第1位に決定。今後は、契約締結に向けて交渉を進める予定。

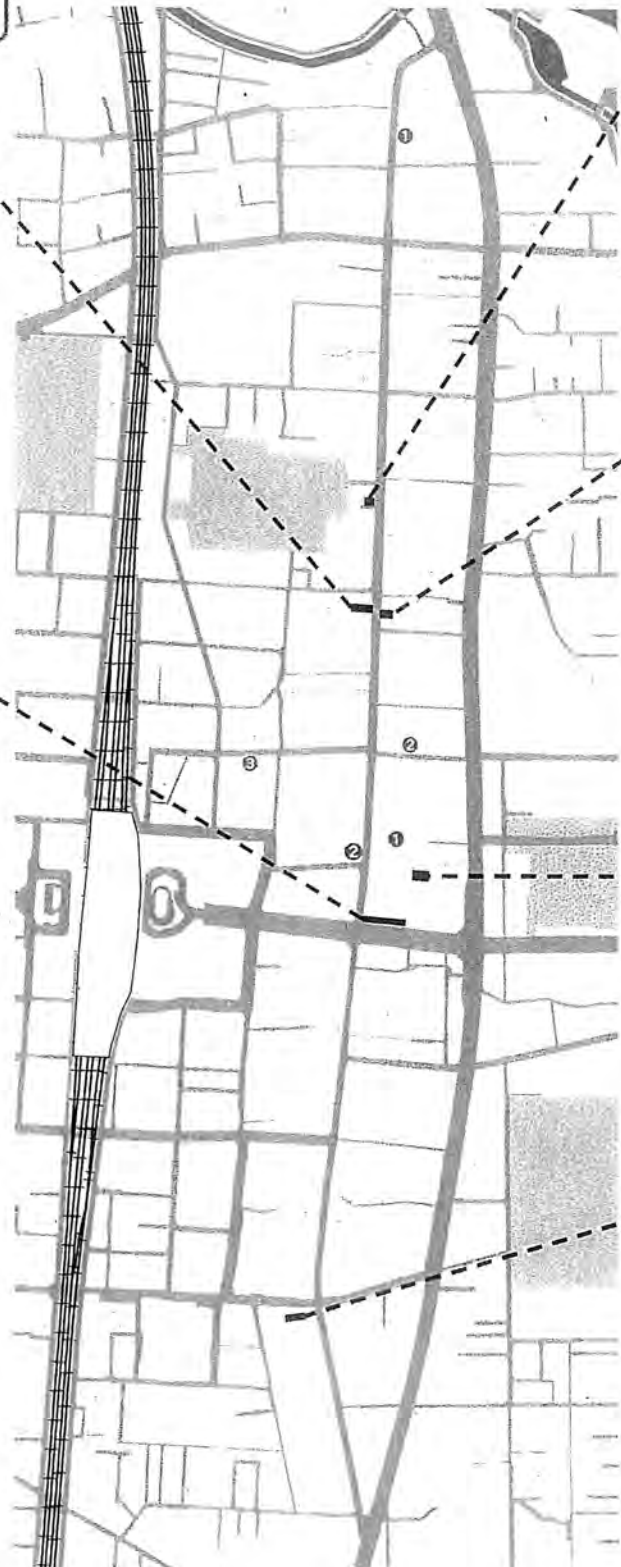
※下図は提案内容のイメージ図



『つなぐば』

子連れで働けるシェアアトリエ&地域の集いのカフェを運営予定。現在、物件交渉中。

旧道の呉服店おぐらやが対象物件だったが、母屋が火事となり、お借りできなくなったことから、草加市内の別の場所で展開する予定で調整中。



(2)第2回リノベーションスクール@そうか
提案内容

ユニットD： 西山金属

都内のホテルで20年以上修業したシェフによる家族(子ども連れ)で行ける洋食屋。『aTable(アターブル)』



ユニットC： 喫茶MIKI

フルーツにとことんこだわり抜いた月替わりの最高のパフェと自家焙煎による月替わりの超こだわりコーヒーの店。『フルーツとコーヒー ジュンペイ』



ユニットB： 八幡荘

ベッドタウンパパの隠れ家的料理教室。昼間はママのためのワーキングスペース。『アオイエ』



ユニットA： 浜野鉄工車庫(2階)

本当に観たい人と、絶対に忘れない思い出が作れる「思いD映画館」。はしやいでOK、寝そべりOK。子ども達が愛着を持てるまち「草加」を目指した映画館。『SOKA TEKKO THEATER』



(3)不動産オーナーや創業者自らの手によるリノベーション案

①『よるずキッチン 恵登屋』

酒販店の蔵をリノベーションし、レンタルキッチンにリノベーション。

②『蔵カフェ 中屋』

築150年の蔵をカフェにリノベーション。

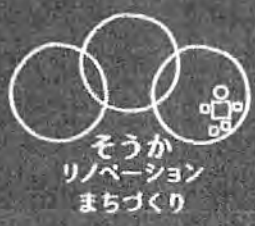
③『FUN-KEY SOKA SOKO Grill&Bar』

倉庫をお肉のグリル料理を中心としたグリルバーにリノベーション。

(4)その他の新規店舗

④『酒場 みどり』

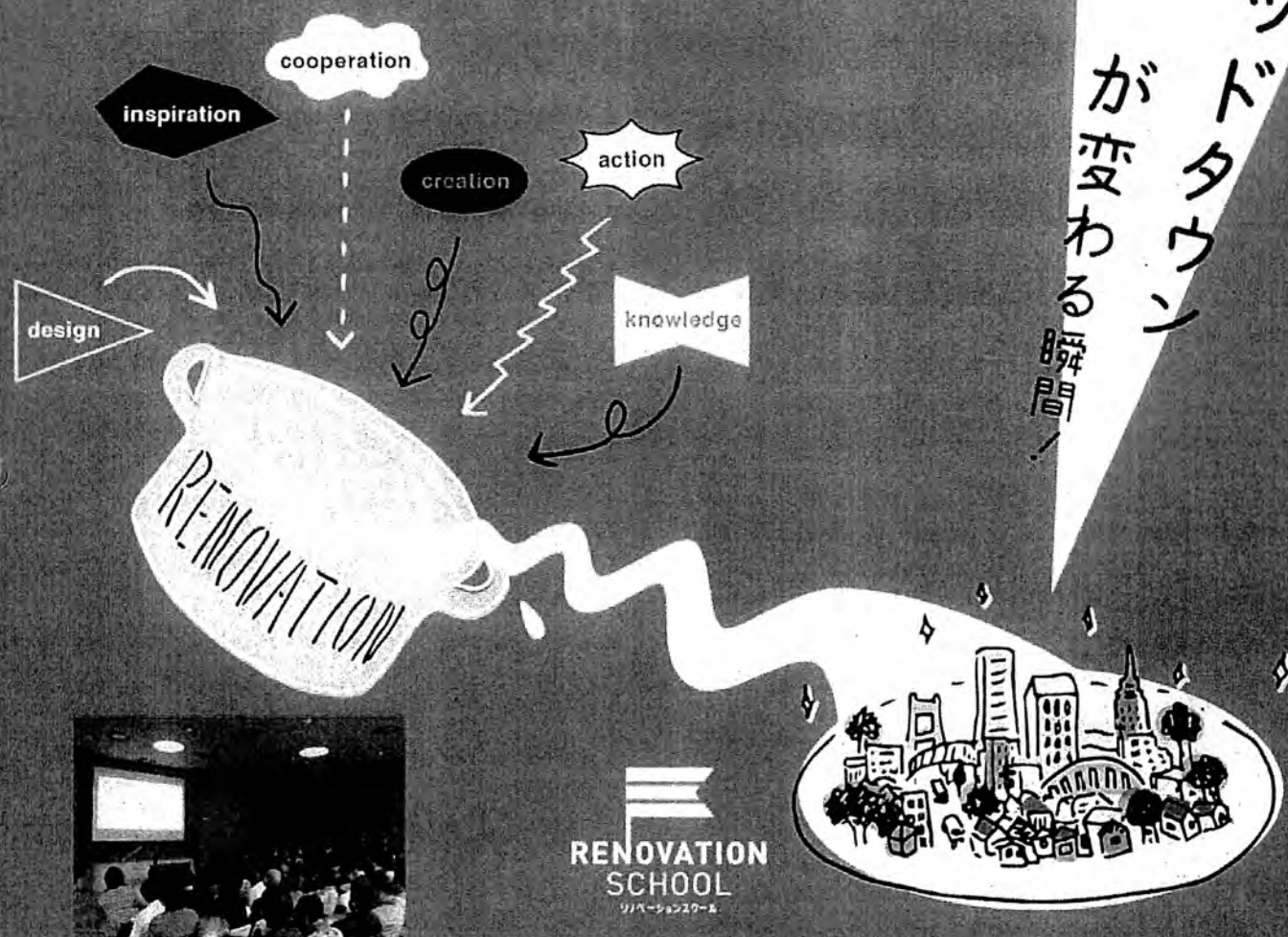
⑤『スイス・ビストロ』



そうか
リノベーション
まちづくり

熱い受講生たちの3日間の集大成。
本気の提案を見逃すな！！

2/ 21
が
変わる瞬間！
ベ
ド
タ
ウ
ン



第2回リノベーションスクール@そうか 一般公開プログラムのご案内 平成29年9月22日(金)~24日(日)

見学無料！
(申込制)

会場：草加市役所本庁舎西棟5階 (22日 / 23日)
高砂コミュニティセンター (24日)

詳細は
裏面へ

主催：草加市 / 企画：株式会社リノベリング
運営：草加市・そうかりノベーションまちづくり協議会・株式会社リノベリング
後援：草加商工会議所・草加市商店連合事業協同組合

リノベーションスクールとは、市内外から集まった受講生たちが「ユニット」と呼ばれるチームを組み、実際の空き家などを題材に、地域経営課題の解決につながる利活用事業計画を3日間で検討、提案するワークショップです。最終日の9月24日(日)には、一般公開のプレゼンテーションを開催し、物件をお持ちの不動産オーナーに対して事業計画を提案します。まちが変わるその瞬間に立ち会いませんか。見学をご希望の方は産業振興課までご連絡ください。

申込
アドレス

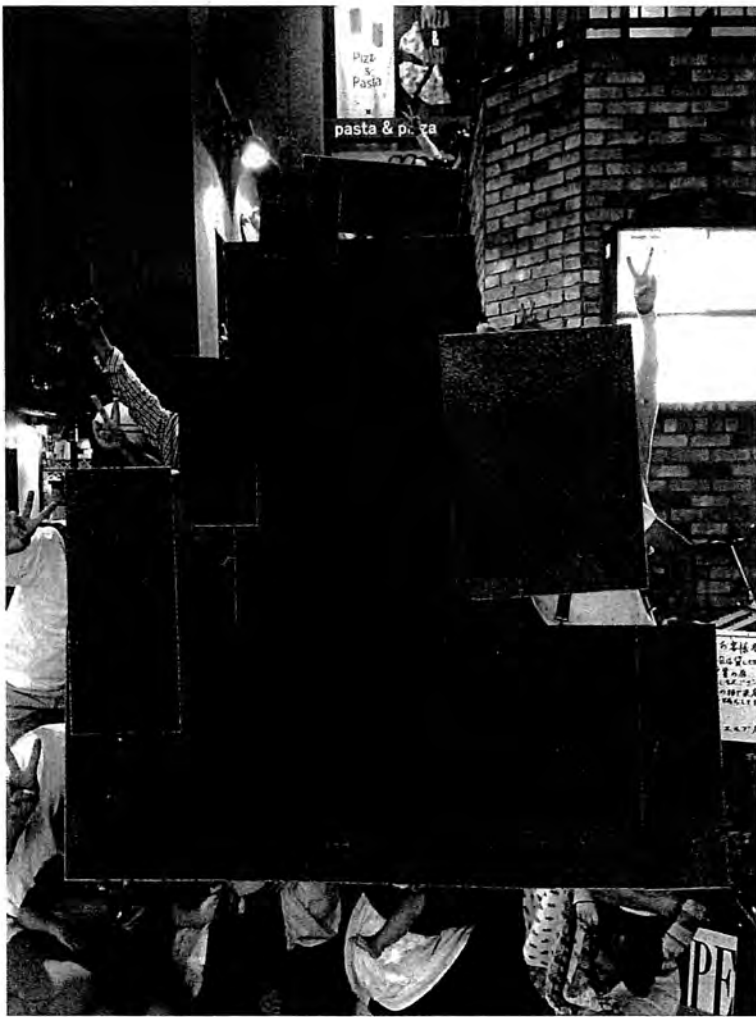


Face
book



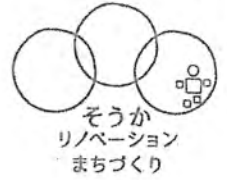
市HPは で検索

お問い合わせ先 草加市 産業振興課 リノベーションまちづくり推進係 〒340-8550 草加市高砂1-1-1
電話：048-922-0839 FAX：048-922-3406 MAIL：sangyosinko@city.soka.saitama.jp



H27より

2/



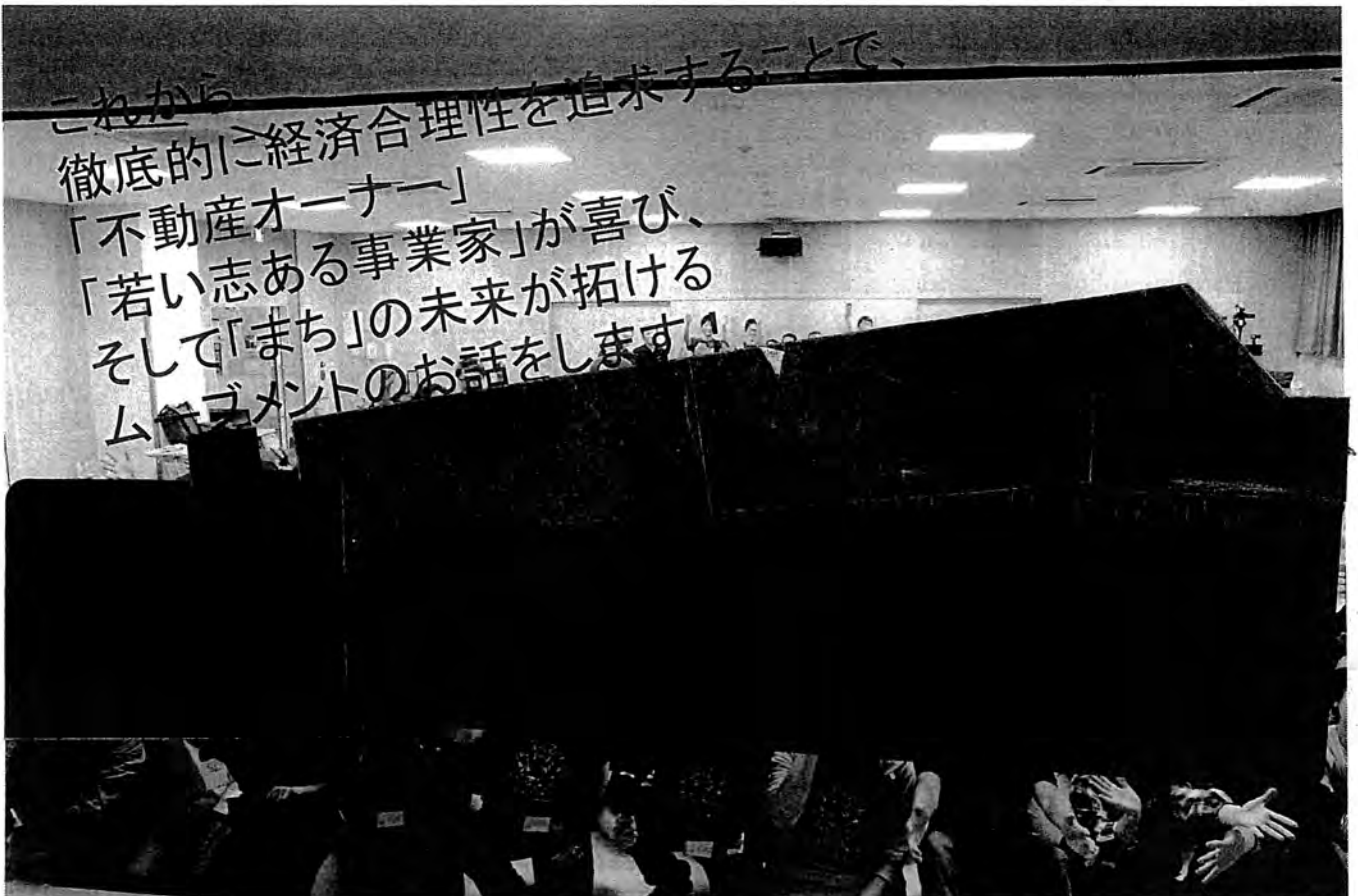
受講生 ~ 1人1坪
↓

学びがらみ実践

民間主導 公民連携による 新しいまちづくり

~そうかりノベーションまちづくり~

立上時



これから
徹底的に経済合理性を追求することで、
「不動産オーナー」
「若い志ある事業家」が喜び、
そして「まち」の未来が拓ける
ムーブメントのお話をします。

イノベーションスクール
約200名



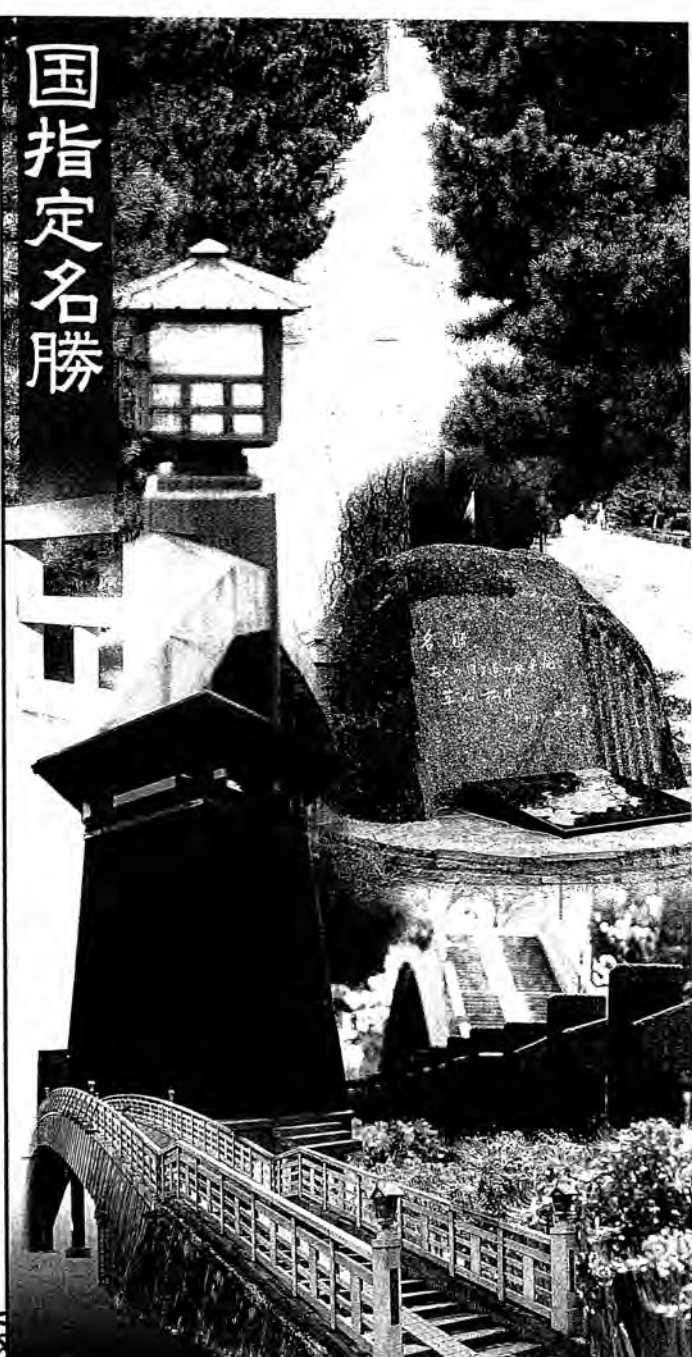
SOKA RENOVATION MACHIZUKURI ANNUAL REPORT 2013-2016

そうかりノベーションまちづくり 年次報告書 2013-2016

草加市

国指定名勝

おくのほそ道の風景地



草加松原

元禄2年(1689)、松尾芭蕉は日本を代表する紀行文「おくのほそ道」の旅に出ました。
それから300年以上の時を超え、
ゆかりの地草加松原が名勝に指定されました。

草加へのアクセス




草加市

会派名

新政会

支出調書

代表者	經理責任者	起案者
		共通

区分	事由	費 目 金 額					小 計
1	調査研究費	交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		調査委託費		振込料	
2	研修費 1、交通議員連盟講演会 (11/20) 東京都	会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	30,000
		交通費		旅費		自動車燃料費	30,000
		資料作成費		食糧費		振込料	
3	広報費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		広報誌 (紙)		報告書等印刷費	
		送料 (折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代	
		振込料					
4	広聴費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費	交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
6	会議費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
7	資料作成費	印刷製本費		翻訳料		筆耕料	
		振込料					
8	資料購入費	法規追録代		参考図書代		新聞 (日刊紙) 購読料	
		雑誌等購読料		有料データベース等利用料		振込料	
9	人件費	賃金		社会保険料等		振込料	
10	事務所費	備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費	
		印刷代		振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費	電話料等 (按分)		郵便料等		自動車燃料費 (按分)	
		その他					
使用者	共通	 支出年月日	29年 11月 20日	現金出納簿 支出番号	ZZ	合計	30,000 円

支出明細書兼支出証明書

支出番号 22

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		出席者負担金・会費 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 （支出事由）	第1回交通議員連盟講演会の講演のみ受講のため （参加費 5,000円 X 6名）				
内 容	講演1「鉄道復権と地域づくり」				
	講演2「JR北海道の再生に必要な枠組み改編の可能性」				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
29年11月20日	交通議員連盟		30,000円		
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	共通



領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

区 分		※該当する区分に○印	
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

No. _____

2017年11月20日

領 収 書

郡山市議会議員 橋本幸一 様

¥5,000-

但し 藻谷浩介・武田泉講演会 参加費として
上記正に領収いたしました

〒020-0861
 岩手県 _____ 北2-23-24
 交通議 _____
 鈴木一夫

No. _____

2017年11月20日

領 収 書

郡山市議会議員 遠藤敏郎 様

¥5,000-

但し 藻谷浩介・武田泉講演会 参加費として
上記正に領収いたしました

〒020-0861
 岩手県 _____ 2-23-24
 交通議 _____
 鈴木一夫

領 収 書 等 整 理 票

区 分		※該当する区分に○印	
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

No. _____

2017年11月20日

領 収 書

郡山市議会議員 栗原 晃 様

¥5,000-

但し 藻谷浩介・武田泉講演会 参加費として
上記正に領収いたしました

〒020 - 0861
 岩手県盛岡市仙北2 - 23 - 24
 交通議
 鈴木

No. _____

2017年11月20日

領 収 書

郡山市議会議員 折笠 正 様

¥5,000-

但し 藻谷浩介・武田泉講演会 参加費として
上記正に領収いたしました

〒020 - 0861
 岩手県盛岡市仙北2 - 23 - 24
 交通議
 鈴木

領 収 書 等 整 理 票

区 分		※該当する区分に○印	
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費	

No. _____

2017年11月20日

領 収 書

郡山市議会議員 會田 一男様

¥5,000-

但し 藻谷浩介・武田泉講演会 参加費として
上記正に領収いたしました

〒020-0861
 岩手県盛岡市 2-23-24
 交通議員
 鈴木一夫

No. _____

2017年11月20日

領 収 書

郡山市議会議員 渡部 龍治様

¥5,000-

但し 藻谷浩介・武田泉講演会 参加費として
上記正に領収いたしました

〒020-0861
 岩手県盛岡市 2-23-24
 交通議員
 鈴木一夫

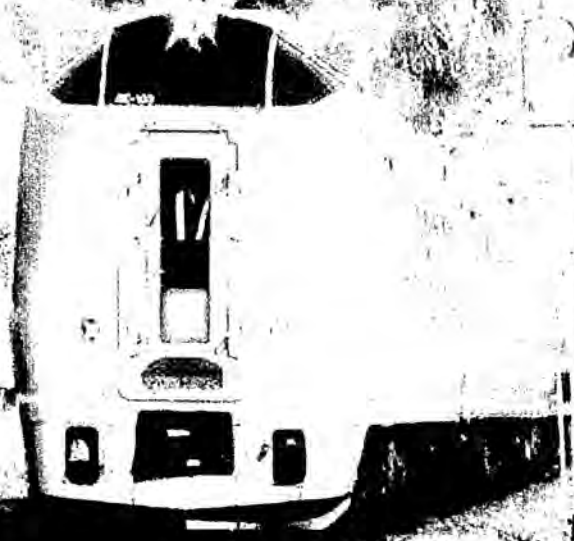


※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

第1回 交通議員連盟 設立総会ならびに 講演会の開催

2017(平成29)年

11月20日(月)



22

講演1 「鉄道復権と地域づくり」

…… 13時10分～15時



©青木優佳氏

もたに こうすけ
藻谷 浩介 (株)日本総合研究所 主任研究員

山口県生まれの53歳。平成合併前3,200市町村のすべて、海外86ヶ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。地域振興や人口成熟問題に関し精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。近著にデフレの正体、里山資本主義(共に角川Oneテーマ21)、金融緩和の罠(集英社新書)、しなやかな日本列島のつくりかた、和の国富論、観光立国の正体(共に新潮社)、日本の大問題(中央公論新社)。

講演2 「JR北海道の再生に必要な枠組み改変の可能性」

…… 15時10分～16時10分

たけだ いずみ
武田 泉

北海道教育大学准教授:交通地理学

会合 交通議員連盟発足について・交通議員連盟の設立と今後の活動について

…… 16時20分～17時

日時●2017(平成29)年11月20日(月) 13時～17時

会場●衆議院議員第二議員会館 地下1階会議室

東京都千代田区永田町2丁目1-2(ウラ面に地図)

参加費●5,000円(資料代として)

受付●12時30分より

主催●交通議員連盟

事務局●交通議員連盟 岩手県盛岡市議会議員 鈴木一夫

岩手県盛岡市仙北2丁目23-24 電話

aap09710@hkg.odn.ne.jp

《募集定員》

150名

会派名 新政会 支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		共通

区分	事由	費目				金額	小計
1	調査研究費	交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		調査委託費		振込料	
2	研修費	1、(1/16)地方議員研究会基礎講座(東京都) 2、(1/17)大阪市行政調査 3、(1/18)兵庫県行政調査	会場費	講師謝金		出席者負担金・会費	210,000
			交通費	旅費		自動車燃料費	
			資料作成費	食糧費		振込料	864
3	広報費		会場費	交通費		自動車燃料費	
			資料作成費	広報誌(紙)		報告書等印刷費	
			送料(折込料含む)	ウェブページ掲載代		茶菓子代	
			振込料				
4	広聴費		会場費	交通費		自動車燃料費	
			資料作成費	茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費		交通費	旅費		自動車燃料費	
			資料作成費	振込料			
6	会議費		会場費	交通費		自動車燃料費	
			資料作成費	振込料			
7	資料作成費		印刷製本費	翻訳料		筆耕料	
			振込料				
8	資料購入費		法規追録代	参考図書代		新聞(日刊紙)購読料	
			雑誌等購読料	有料データベース等利用料		振込料	
9	人件費		賃金	社会保険料等		振込料	
10	事務所費		備品購入費	事務機器等リース代		消耗品等事務費	
			印刷代	振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)	郵便料等		自動車燃料費(按分)	
			その他				
使用者	共通	支出年月日	29年 12月 25日	現金出納簿 支出番号	24	合計	210,864 円

支出明細書兼支出証明書

支出番号 24

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		出席者負担金・会費 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)	地方議員研究会研修会受講費 (30/1/16) (参加費 一講座 15,000円×7名×2講座)				
内 容	講座1 質問作成 1000本ノック				
	講座2 まちづくりのしくみ・アプローチと実践法				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
29年12月25日	(社) 地方議員研究会		210,000円		
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	共通



領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

該当するものに○(または✓)を表示します

振込金受取書(兼手数料受取書)

預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

ご振込日 29年12月25日	
金融機関名(漢字)を左詰めでご記入ください(東邦銀行の場合記入不要)	
支店名(漢字)を左詰めでご記入ください	
銀行	
お振込先	
東邦銀行あての振込	
銀行以外の場合は○をお付けください。	
ご記入にあたってのお願い	
<input type="checkbox"/> 東邦銀行 <input type="checkbox"/> 信金 <input type="checkbox"/> 信組 <input type="checkbox"/> 協 <input type="checkbox"/> その他	
<input checked="" type="checkbox"/> 太枠の中を黒ボールペンで強くご記入ください。 <input checked="" type="checkbox"/> 金額の先頭に¥マークをご記入ください。 <input checked="" type="checkbox"/> 濁点(・)、半濁点(゜)もーマスを使用してご記入ください。	
預金種目	金額
該当項目に○をお付けください 1.当座 2.普通 4.貯蓄 9.その他	左詰めでご記入ください 十位 億 千万 百万 十万 万 千 百 十 円
<input type="checkbox"/> 当座 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 貯蓄 <input type="checkbox"/> その他	7520919
カタカナ	消費税込手数料
(シヤ)4ホウキ"イソケンキユウカ	864
イ	
おなまえ(漢字)	<input type="checkbox"/> 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。 <input type="checkbox"/> やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することもありますので、ご了承ください。
(社) 地方議員研究会	株式会社 東邦銀行
カタカナ	
コオリヤマシキ"カイシンセイカイ	
おなまえ(漢字)	
郡山市議会 新政会	
おところ	日中ご連絡可能な電話番号
福島県郡山市朝日一丁目	

当行をご利用いただきましてありがとうございます

24

平成29年12月25日

郡山市議会
新政会 御中

地方議員研究会
セミナー事務局
電話 06-7878-6297
FAX 06-7878-6308

入金確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。

受講料のお振込みを下記のとおり確認いたしました。

領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。
当日のご参加をお待ちいたしております。

記

- 受講日 平成30年1月16日10:00~12:30、1月16日14:00~16:30 (東京)
- 受講者 石川義和様、廣田耕一様、栗原晃様、
橋本幸一様、會田一男様、渡部龍治様、折笠正様
- 受講料 7名様分 合計 210,000円
- 領収証宛名 新政会様 (¥210,000)
- お振込み日 平成29年12月25日
- お振込み名義人 郡山市議会新政会様

※当日は会場1階の案内をご覧の上、会議室までお越しください。

平成29年12月18日

郡山市議会
新政会 御中地方議員研究会
セミナー事務局
電話 06-7878-6297
FAX 06-7878-6308

受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。

お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。
お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。
キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。
お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。
領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。
当日のご参加をお待ちいたしております。

記

- ・受講日 平成30年1月16日10:00~12:30、1月16日14:00~16:30（東京）
- ・受講者 石川義和様、廣田耕一様、栗原晃様、
橋本幸一様、會田一男様、渡部龍治様、折笠正様
- ・受講料 1講座 15,000円 × 2講座 × 7名様 = 合計 210,000円
- ・領収証宛名 新政会様（¥210,000）

【 受講料 お振込み口座 】
楽天銀行 第二営業支店
普通 7520919
名義（社）地方議員研究会

地方議員研究会²⁴

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くととの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。
テーマ、チラシレイアウト等も同じ悪質な団体もございますので、お間違いのないようにくれぐれもご注意ください。

3期目までの
自治体議員の
ための

基礎講座 in 東京



10:00 ~ 12:30

議員の専門性・キャリアプランニング

国会議員、地方議員の専門性の向上について、総務省を初め、さまざまところで議論や指摘がなされています。議員の専門性とは何か、どのような議論がされているのかを整理し、これまでのキャリアを活かした専門性の作り方、発信の仕方などを具体的にお伝えします。

1月15日
(月曜日)

14:00 ~ 16:30

行政サービスの効果や有効性の分析

多くの自治体で実施されている行政評価のメリット、デメリットを整理し、そのデメリットを克服するための手法である、事業分析手法の考え方とやり方をお話しします。また、事業や課題の構造化(見える化)に必要な考え方や図解なども扱います。

10:00 ~ 12:30

質問作成1000本ノック

実際の質問を事例として取り上げ、どうすればより良い質問になるのかをそのポイントを解説しながら、参加者のみなさんと一緒に質問を作り上げていきます。実践力が付く講座です。

1月16日
(火曜日)

14:00 ~ 16:30

まちづくりのしくみ・アプローチと実践法

まちづくりという言葉はさまざまな場面や文脈で使われています。まちづくりに関連する内容や項目をこれまでのまちづくりから整理し、これからの課題とアプローチを紹介いたします。地域力、防災、少子・高齢化、交通など幅広い視点から考えます。

永田 潤子 ながた じゅんこ 大阪市立大学大学院 創造都市研究科 准教授

1961年、福岡県生まれ。海上保安庁の幹部を養成する海上保安大学校初のただ一人の女子学生として入学。26歳で女性初・最年少で巡視船舶長になる。その後、埼玉大学大学院政策科学研究科(現:政策研究大学院大学)にて政策分析修士号を取得、大阪大学経済学研究科博士後期課程(単位取得満期退学)にて経営学、意思決定について研鑽。1997年海上保安大学校行政官理学講座助教授、2003年4月より現職。

専門は、公共経営論(CSRを含む)であり、個人・組織の関係や組織のマネジメントについて研究する他、マーケティングの視点を活かし「名古屋発!お買物革命」プロジェクト(社会技術開発研究センター)の研究代表を務めるなど、社会問題の解決を目指した理論と実践を試みている。国や地方自治体の審議会・研究会の他、関西経済同友会の若手リーダー養成塾の担任講師や企業のCSR戦略アドバイザーなど幅広く活躍。橋下大阪府知事時代の特別顧問、改革評価委員も務めた。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 24

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		振込料 振込手数料
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				※該当する支出費目を記入
支出目的 （支出事由）	地方議員研究会研修会受講費振込手数料（864円） （参加費 一講座15,000円×7名×2講座）				
内 容	講座1 質問作成1000本ノック 講座2 まちづくりのしくみ・アプローチと実践法				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
29年12月25日	（株）東邦銀行		864円		
上記のとおり支出します。					議員氏名 共通 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄
別紙添付書類の通り

該当するものに○(または✓)を表示します

- 振込金受取書(兼手数料受取書)
- 預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

2019年12月25日

金融機関名(漢字)を左づめでご記入ください(東邦銀行の場合記入不要) 支店名(漢字)を左づめでご記入ください

振込先 銀行 **東邦銀行** 第二営業 出張店所

東邦銀行あての振込 東邦銀行 銀行以外の場合は○をお付けください。

ご記入にあたってのお願い

- 太枠の中を黒ボールペンで強くご記入ください。
- 金額の先頭に¥マークをご記入ください。
- 濁点(・)、半濁点(゜)も一マスを使用してご記入ください。

預金種目 1.当座 2.普通 4.貯蓄 9.その他 口座番号 **7520919** 金額 **¥210000**

カタカナ **(シヤ)キホウキ"インケンキニウカ**

おなまえ(漢字) **(社) 地方議員研究会** 様

消費税込手数料 円

864

○振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。

○やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することもありますので、ご了承ください。

株式会社 東邦銀行



収入印紙

1. 振込金受取書の場合、振込金+手数料5万円以上の場合200円賦付
2. 振込金受取書の場合、振込金200円以上の場合100円賦付
3. 当店の本人口座への入金10万円以上の場合100円賦付

カタカナ **コオリヤマシキ"カイシンセイカイ**

おなまえ(漢字) **郡山市議会 新議会** 様

おとこ **福島県郡山市朝日一丁目** 日中ご連絡可能な電話番号 **[REDACTED]**

当行をご利用いただきましてありがとうございます